

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第165号	
事故等種類	同乗者負傷	
発生日時	平成21年6月7日（日） 11時40分ごろ	
発生場所	茨城県ひたちなか市 那珂湊港南防波堤灯台から真方位204° 180m 付近（概位 北緯36° 20.1′ 東経140° 36.1′）	
事故等調査の経過	平成21年6月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	水上オートバイ オオモリ ^{エフェックスシー} FX-C、0.1トン	
船舶番号、船舶所有者等	231-20844茨城、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	負傷 1人（同乗者）	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1名が乗船し、マリーナを発し、茨城県那珂川河口付近に向かった。</p> <p>船長は、那珂川を下航中、同河口沖に約4mの波が見えたので、海門橋を約450m下ったところでちゅうちょし、その場で旋回していたところ、水上オートバイ2隻が本船を通過していったので、本船も続いて航行することとした。</p> <p>本船は、約35km/hの速力で那珂川河口沖に出たところで、約2mの波を2回飛び越えた後、突然、すぐ目の前に約4mの波が現れ、回避することはできないと思い、そのまま直進することとし、波を飛び越えて着水した際、平成21年6月7日11時40分ごろ、前部座席に乗船していた同乗者が、着水時の強い衝撃を受けるとともに、後ろから船長に覆いかぶさられて背中を圧迫し、腰椎破裂骨折を負った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東、風力 5</p> <p>海象：波高 約4m</p>	
その他の事項	<p>船長は、天気が良い日曜日は、友人らとともに毎週操船していたが、天気が悪かったため、事故前の3週間操船することができなかった。</p> <p>船長は、出航前、不安を感じていたが、出航しても大丈夫だろうと思い、自身の操縦技術を過信した。</p> <p>船長は、突然、約4mの波が現れた際、このままの速度で直進したら波に巻かれて転覆すると思い、咄嗟にスロットルレバーを引き、エンジンの回転数を上げ、増速して波を飛び越えた。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は那珂川河口沖を航行中、約4mの波を増速して飛び越えたため、同乗者が着水時に衝撃を受けるとともに、船長が同乗者の後ろから覆いか

	ぶさったことにより背中を圧迫されて、腰椎破裂骨折を負ったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が那珂川河口沖を航行中、本船が増速して波を飛び越えたため、前部座席の同乗者が、着水時に衝撃を受けるとともに、後ろから船長に覆いかぶさられて背中を圧迫されたことにより発生したものと考えられる。